

三中だより

令和7年度第2号

令和7年5月1日（木）

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

大田区中央4-12-8

1学期が始まって1か月、1年生は初めての中学校生活に緊張感をもちつつも、これからの学校生活に希望をもって一生懸命に取り組もうとする姿勢が感じられます。2年生は委員会や部活動で、後輩の様子に気を配りながら、自分たちが学校を中心としてがんばるという気持ちがさまざまな場面で感じられます。3年生は自分の進路を切り拓いていこうとする自覚が芽生えているのでしょう。授業を始めとして学校生活に対してより前向きな姿勢をもち、真剣に取り組んでいます。

さて、それぞれの学年が張り切ってスタートした新年度ですが、今年度の学校生活をより充実させていくために、ぜひ、先の見通しをもってこの一年間を過ごしてほしいと思います。先の予定が見えていれば、今取り組むことは明確になってきます。準備することも分かってきます。そして今の活動が充実します。また、今の取組に対して今回はここまでで目標達成、次回はさらに高みを目指してみようとだんだんと自分自身を成長させることもできます。

ただ、あまり先々を見すぎて行動していると、今のことにしっかりと取り組むことができなくなってきました。見通しなくいつ終わるかわからないことに取り組み続けることはとてもつらいことです。また、細かく計画を詰め込みすぎると、計画自体が成り立たなくなったり、見通しに息が

詰まってしまう事態となります。気持ちに余裕をもって見通すことができれば、今の取組を安心して楽しむことができます。さらに、今の取組がとても豊かな体験となります。旅に例えると、プランをしっかり立てて旅立つことが大切ということです。乗り継ぎもスムーズで旅の途中も存分に楽しめる行程だと、旅が一層楽しくなります。予定を立てて旅先をイメージして、途中の街のことを調べていると、新たな旅立ちへの意欲も高まります。実際、旅先で新たな発見や出会いをすることもあり、より一層豊かな体験となります。そして、次の旅路がより一層楽しみなものになってくることでしょう。もしもアクシデントがあり予定通りにいかないことがあっても、それを受け止める大きな気持ちで過ごすことも大切です。旅に例えてみましたが、見通しをもつことは、今の取組の意義を認め、先への意欲を喚起するという重要な役割を担っていることが分かります。

この時期に1年間の見通しをもつことで、新たなことにチャレンジする意欲も出てきます。何より今取り組むべきことが明確となり、充実した1年を過ごすことにつながります。学校では、様々な教育活動を計画的に進めていきます。途中途中で生徒たちが先を見通せるように説明をしながら、これからも教育活動を進めてまいります。保護者の皆様にも、ぜひご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。1年間どうぞよろしく願いいたします。

スクールカウンセラー 出勤予定日

※大森三中 相談室直通電話
(3773) 7831

田中 典子	5/12(月)、5/19(月)
藤田 啓子	5/13(火)、5/20(火)、5/27(火)
西原 由紀	5/7(水)、5/14(水)、5/21(水)

5月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木
	眼科検診(全) 教育実習(終)	歯科検診(2)		運動会予備日 給食有	振替休業日		運動会			運動会 予行				土曜学習サークル① 9:30~11:30		避難訓練(地震対応)			安全指導 教育実習(始)			生徒総会⑤⑥		区教研総会	振替休日	子どもの日	みどりの日	憲法記念日	①~⑤ 専門委員会	中央委員会 16:00~

中学生になって

1 年

私は中学校で、たくさん挑戦してみたい。

前まで私は、逃げてばかりいた。失敗が怖かったのだ。勉強も運動も人とのコミュニケーションも下手だとわかっていてから、遠ざけていたのだ。しかし、小学校 6 年生に進級してから、「中学校」を意識するようになってきた。そうすると、今まで遠ざけていたものを、距離をとって置いておくことができなくなってしまい、やるしかなくなってしまった。しかし、しばらく頑張ってみたが何もできなかった。これまでにやってこなかったのだから、当然だと思った。でも悔しかった。これまで遠ざけていたときは違って頑張ったのに、成果がでないのが悔しくて、できるようになるまでやってみようと、初めて思えた。次のテストまで 90 点以上をとろうと、本気で勉強してみた。難しかったけど、楽しかった。基礎ができていなかったのだから、今までやってこなかった自分のことを恨んだ。テストは 80 点程だった。その結果は悔しかったけれど、がんばってきたことは楽しかった。それから、私はコツコツとやってきた。それでも周りより明らかに遅れているところがあった。中学生になって、次こそ目標を超えていきたい。これまでにやってこなかった自分が私自身の足かせになっている。そんな足かせに追いつかれないように、常に前へ前へと進んでいきたい。中学では、頑張ることの楽しさを味わった経験をもとにいろいろなことに挑戦をする。私は私を超えていきたい。

2 年生でがんばりたいこと

2 年

僕は去年、体育委員に入っていた。僕は小学生のときは人をまとめたことがなかったので、体育委員として人をまとめることで、まとめることの楽しさや大変さを経験することができ、自分自身がとても成長することができた。そして、体育の授業でまとめるだけでも、難しくてつかれるのに、それを毎日やっている先生を尊敬するようになった。

僕の担任の先生は教員 1 年目なのでわからないことが多いと思う。そんな先生の様子をみていて、去年の経験から先生を支えるために、僕は学級委員に立候補した。学級委員は、クラスのまとめ役で、体育委員とは比べものにならないほど仕事の量が多いため、とても大変だ。しかし、僕は仕事を正確にすすめ、先生のサポートをしたい。

また、僕は勉強も頑張りたい。昨年度の定期考査で、5 教科は努力の成果を収めることができたが、実技教科が今一つだった。そこで、5 教科だけでなく、実技教科への取組もがんばっ

ていきたい。そして定期考査の結果がその努力を反映できているようにしたい。

このように、学校生活でも学習でも今年は成長の年としたい。学級委員として自分が一生懸命取り組む姿勢をみせて、みんなから信頼されるようにしたい。それがクラスをまとめることになっていくと思う。また、学級委員として任せられた役割は一度も忘れずにやりきりたい。勉強では、苦手教科を中心に、テスト期間に計画的に準備に取り組んで、よい結果を収めたい。どちらも両立させて頑張ることで、三年生でのがんばりにつなげていきたい。先生やクラスみんなの信頼を得られるよう、しっかり成長したい。

3 年生になって

3 年

今年、3 年生になった私の目標は、「何事にも全力で」です。この言葉は普段から私が大切にしている言葉で、母にも言われることが多くあります。この目標を達成するためにやらなければいけないと思うことが 2 つあります。

一つ目は、積極的に行事などの仕事に取り組むことです。私は去年、委員長や校歌の指揮者、海外派遣などの学校の代表となる仕事に立候補し、努めてきました。私の中で去年ほど多く仕事をやり遂げた年はないと思います。しかし、ことは最高学年となり、学校の顔となります。去年以上に積極的に仕事に取り組み、責任感をもってどんな仕事でも全力で頑張りたいです。

二つ目は、受験です。今年で義務教育も終わり、これからの人生を自分で決めることになります。私はよく、これでいいやなど頑張ればもっとできることなのに、楽をしてしまうことが多くあります。しかし、受験は一度きりで自分の人生に大きく影響を与えるので自分を甘やかすことをせず、自分に厳しくしていきたいです。また、私は計画的に勉強することがあまり得意ではないので、定期考査などから計画的に勉強することを心掛けたいと思います。後悔のないよう、全力で準備をし、自分の将来のために頑張りたいです。

3 年生は、「最後の」という言葉が多くのことにつくと思います。行事など、全力で楽しんで、中学校生活を終わられるようにしたいです。



4 月 11 日(金)、一年生にむけて、生活のきまりや委員会や部活動について、2・3 年生が紹介する新入生歓迎会を行いました。1 年生にむけてという気持ちで、2・3 年生、頑張りました。